

ご案内する町の観光コースを、今年度リニューアル。「ふくち案内人」のガイドと一緒に福智の歴史や自然の魅力に触れてみませんか。ユーモア溢れるご案内でおもてなし致します！料金や申込方法などの詳細は、福智町観光HP「ふくち旅」で公開中。



- 新コース1**▶ 足利尊氏伝説「興国寺」(約1.5h)
- 新コース2**▶ 福智山麓「上野散策」(約2.5h)
- 新コース3**▶ 国指定伝統的工芸品「上野焼窯元見学」(約2.5h)
- 新コース4**▶ 金田駅から「歴史散歩」(約2.5h)

Information ▶ 来てみん！ふくちの魅力、私たちがご案内します！

コロナ禍乗り越え再出発 既存コースをリニューアル

30年ぶりに福岡で開催された「KOGEI EXPO」の産地ツアーで上野地区をガイドするなど、本格的な活動がこれからという時に、新型コロナウイルスの影響で活動自粛を余儀なくされた「ふくち案内人」。コロナ禍中にも希望を捨てず、活動再開に向けて、各自、情報収集やガイドの練習を続けました——

新型コロナがいわゆる「感染症法」上の5類に引き下げられ、日常が戻ってきた今年。「ふくち案内人」は、ついに5月から活動を再開させま

す。再出発の第一歩として、設立当初から変更・見直しされていた観光コースをリニューアル。各スポットを実際に歩いて検討するなど、コロナ禍にためていた熱量を傾けて、上野地区を中心とした新たな4つの観光コースを作成しました。

先月25日にガイドを受けた竹田奈穂子さん(飯塚市)は、「福智町にこんな魅力があるんだと、ガイドの皆さんの話に引き込まれました。機会があれば、また案内をお願いしたい」と高く評価。「お客さんの喜ぶ姿が、私たちの原動力。お声もいただけ、うれしい」と「ふくち案内人」の皆さんは頬を緩めました。

町の魅力伝える営業マン ふくち案内人の挑戦続く

先月26日には、西鉄旅行のバスツアー「小倉藩窯上野焼を訪ねて」でガイドを務めるなど、現在も精力的な活動を続ける「ふくち案内人」ですが、「若い世代のガイドがいない」という課題もあると口をそろえます。「私たちの取組を意味あるものにするためには、活動を継いでくれる若い人の力が不可欠。少しでも参加してみたいと思ってもらうために、今活動する私たちが楽しむ姿を見せたいか」とねと笑みをこぼします。

今後の目標については「町を訪れた外国人のお客さんを案内できるようなこと」と意気込むガイドの皆さん。「2030年の訪日外国人6千万人」という政府の目標により、今後高まると思えるインバウンドにもしっかりと対応していきたいと期待を胸に膨らませています。

「福智町は、歴史やロマンが詰まった町。他にない「上野焼」という強みもある。埋もれてしまうのはもったいない。平均年齢はオーバ60の私たちやけど、福智町の営業マンとして、多くのお客さんに町の魅力を伝え続けていきたいね」。

Request ▶ 福智町の魅力を伝える新たな仲間を募集中

「ふくち案内人」では、今年度で新設した福智山専門の「登山ボランティアガイド」と、従来の「ボランティアガイド」を同時募集中。郷土愛をここで生かしてみませんか。

求める人物像▶

人と接することが好きなた / 健脚自慢の人 / 福智町の文化や歴史を学び、それを多くの伝えたい人

応募・お問合せ先▶ 観光ボランティア協会事務局(担当: 松本)

☎ 0947-22-7766 / 平日8時半～17時15分



↑ 設立当初、ガイドのプロ・藤原ちず子さんの研修で、ガイドの基本とおもてなしの心を学んだ案内人たち。



「福智の良さを一番知っているのは、行政ではなく、この町に暮らす私たち。やけん、自分たちの言葉で町の良さを伝えていきたいんよ」。

そんな想いで平成24年に設立した福智町観光ボランティアガイド協会「ふくち案内人」。住民自らがガイドとして町の魅力を紹介することで、来町者と町のファンを増やし、地域に人を呼び込みたいという住民主体の活動は今年で11周年を迎えます。

当初は、昭和の町で知られる豊後高田市の観光ガイドを務める藤原ちず子さんにガイドのいろはを教わりながら、有志8人で取組を開始。現在では、会員数も14人に増え、依頼を受けた際のご案内や月1回の定例会はもちろん、案内する情報の調査や共有を目的とした自主勉強会を開くなど、積極的な活動へと取組の輪を広げてきました。

ようこそ、我が

ふるさと 故郷へ

福智町を訪れた皆さまに町の観光名所をご案内する観光ボランティアガイド協会「ふくち案内人の会」故郷の魅力は、私たちが伝えたい——熱い志を胸に、日々活動しています。平成24年の設立から11年目の今年、「ふくち案内人」のこれまでに想い、今後の目標をご紹介します。



1 案内後の反省や次回のガイドに向けた打合せなど、活発な意見交換が行われる毎月一回の定例会 2 現在では、「ふくち案内人」のガイド技術を学ぶため、他県のガイド団体も来訪。写真は、宮崎県湯前町の視察受入時のもの 3 最後までおもてなしの心を忘れず、手を振り見送る案内人たち

